



たとえ認知症になっても安心して住める町、加世田をめざして

第23回 加世田アルテンハイム 講演会

あなたは自分の人生のフィナーレをどのように美しくいさぎよく演出されますか？

最期まで自分らしく生きる

～女医の渡辺敏恵先生と一緒に考える会を開きます～

人の生き方がさまざまなように、どんな最期を迎えたいかも人それぞれです。突然の事故や病気、認知症などで判断力が無くなった時、家族や周囲の人たちが困惑しないようにあなたの考えを残す事は大切な事です。

また、自分の最期について考えることはどのように生きていきたいのかを考えることでもあります。大切なメッセージをどのように考えてどのように残したらよいのか？この会をきっかけにご一緒に考えてみましょう。

加世田アルテンハイムでは、かねてから「たとえ認知症になっても安心して住める町加世田」を提唱し、福祉・医療・行政に携わる人、それを受ける地域の方々と共に話し合いを重ね、3年をかけ「トータル支援パス」を作成しました。その過程を昨年10月に東京の会で発表、全国に発信して大きな反響がありました。

これは地域の皆様方のご理解とご協力をいただいてこそ実現できる「まちづくり」でもあります。これから共に考え、創っていけるよう願っております。

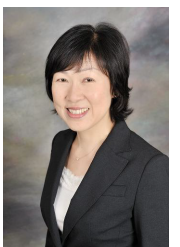
日時 平成24年 3月31日(土) 13:30～15:30

会場 南さつま市総合保健福祉センター ふれあいかせだ
いにしへホール (定員 300名)
南さつま市加世田川畑 (南さつま市役所向かい)

会費 無料 (満員が予想されます。ご参加希望の方はお電話でお申し込みください) 0993-52-8715
加世田アルテンハイムまで

講師 渡辺敏恵 医師 (認定内科専門医)

東京女子医科大学卒業・医学博士
東京女子医大非常勤講師
NPO法人高齢社会をよくする女性の会会員
「自分らしい「生き」「死に」を考える会」代表



◎当日ご参加の方には、講師が代表を務める会発行の『私の生き方連絡ノート』をご希望の方には販売いたします。(500円位)

お申込みは、加世田アルテンハイム (0993-52-8715) までご連絡ください。